

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.15

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	大学リレーマラソン実施事業	担当部署	戦略企画課	
総合計画体系				根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると				平成
(小項目)		大学連携			終期	未定
施策	4	大学連携の推進				
基本事業	1	地域社会における連携				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレス鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	交流人口の増大および市民等の健康増進につなげるとともに、鳴門市と鳴門教育大学の連携をより推進し、両者で鳴門の活性化を行う。		事業 内容 (R1)	1. 鳴門教育大学との連携 ①両者で実行委員会を組織し、鳴教大をコースとしてリレーマラソンを実施。 2. 交流人口の増大と市民等の健康増進 ①ゲストを招聘し、参加チームを増やす。 3. 地元協賛企業との連携 ①地元の企業の特産品を参加賞として配布し。鳴門の良いものをPRする。				
実施方針	1. 鳴門教育大学との連携 2. 交流人口の増大と市民等の健康増進 3. 地元協賛企業との連携			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	参加人数		783	626	500	500	500	人

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	第3回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学実施	第4回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学実施	第5回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学実施	第6回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学実施	第7回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学実施

事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	500	0	500	500	500

事務事業名	大学リレーマラソン実施事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	鳴門教育大学と連携し、「第5回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学」を実施し、過去最多の81チーム855名の参加があった。
--------	-----------	--

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1						
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	参加人数	626	855	500	500	500	人
	目標達成率(実績/目標)		171.0	-	-	-	%

事業費推移(円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計	152,857	0	262,791	0	262,791
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	152,857	0	262,791	0	262,791

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	参加人数		成果指標に対する所見	5回目となる今大会においては、イベント参加者は過去最多となり、目標を大きく上回った。		
	目標	500	人				
	実績	855	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	リピーターも多く開催後の参加者アンケートでも継続実施の声をいただき大変好評なイベントとなっている。開催準備及び運営やゲスト対応など事業実施にあたっては戦略企画課職員とボランティアの学生スタッフが主となり行っており、スタッフの人手が不足しがちである、学生スタッフへのアルバイト代の支出等も検討し、鳴門教育大学と調整していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、実施を検討する。
	令和3年度	令和2年度の状況を踏まえ、実施を検討する。